

クリニックレター 2015.7月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

腸内細菌が人格をつくる？

少し前に、NHKテレビで「腸内フローラ解明！驚異の細菌パワー」という番組を見た。腸内細菌の重要性については以前から注目されており、動脈硬化や免疫疾患に関する研究が進んでいることも知っていたが、番組では、癌や糖尿病、さらには、うつ病までも腸内細菌が関連していることがさまざまなエビデンスとともに紹介されていた。さらに、便秘、すなわち、健康な人の便を移植する治療法もあるとか・・・。

番組の中で一番びっくりしたのは、「臆病な性格」のマウスと「活発な性格」のマウスの腸内細菌を入れ替えたら、性格が反対になる、という実験結果。今後は、腸内細菌を入れ替えると学校の成績が上がる、などということも考えられるので、「東大生の便売ります」なんて商売が現れるかも・・・。

以前から脳腸相関という言葉があり、脳の働きと腸の動きは関連している事はわかっていたし、漢方でも「心主神明論」といって、「心の働きは体のすべての働きを統括する」という理論があるのだが、これからは「腸主神明論」と書き換えられる時代が来るのかもしれない。

でも、一緒にTVを見ていた妻と顔を見合わせて同時に思った事は、「このヒトと腸内細菌を入れ替えると相手と性格が入れ替わるのか・・・うーん・・・」

食べるプラスチック

食べ物といえば、アメリカ食品医薬品局(FDA)が3年以内にマーガリンやショートニングに含まれるトランス脂肪酸を全廃すると発表した。トランス脂肪酸は「食べるプラスチック」などとも呼ばれており動脈硬化の原因物質として知られているが、欧米では以前から食品中のトランス脂肪酸の量に関して表示義務が課されている。

一方、日本国内ではトランス脂肪酸の表示義務はなく野放しの状態である。トランス脂肪酸が含まれる食品としては、上記のマーガリンやショートニング、これらを使ったドーナツやポテトチップスの類、コーヒーフレッシュやアイスクリームなどがあり、さらにはコンビニのおでんやおにぎりなどにも使われているという。私の自宅からクリニックへの通勤路にMハンパがあるが、朝から多くの車が最近造設した駐車場に吸い込まれていくのを目にするし、コンビニにも朝食にパンやおにぎりを買い求める人が押し寄せている。「便利さ」と「食の安全と健康」、どちらが大切か。トランス脂肪酸を野放しにする日本政府は、「健康」に関して国民のほうを向いていない。



Aさんの話

Aさんが当院を受診されたのは今からちょうど2年前のことです。来院の9ヶ月前に某病院で肺に影が見つかり肺癌と診断された、とのことでした。手術はもうできない進行癌で、主治医から化学療法を勧められたのですが、高齢でもあり体力に自信がないという理由で（化学療法を）断ったところ、「それならもう受診しなくていい、薬もなく、余命は9ヶ月」と言われたとのことでした。いわゆる「癌難民」になったAさんは、しかたなく大阪の漢方薬局を頼りました。しかし、ここでは、「いい薬を出してあげる」と言われたものの、お薬代が1ヶ月7万円もかかることが分かり、途方にくれて当院を受診されたのでした。

来院されたときには、すでに主治医に宣告された9ヶ月が過ぎようとしていたのですが、私が処方した、十全大補湯にいくつかの抗癌生薬を加えた漢方薬をAさんはそれから毎日御自宅で煎じて服用され、1ヶ月に一度は必ず診察に来られるようになりました。内心では癌の進行に対する恐怖をお持ちだとは思いますが、それを感じさせない明るい笑顔で2年のあいだ、充実した日々を送られました。

そのAさんが先日亡くなられました。御挨拶に見えられたご主人のお話では、亡くなられる1ヶ月間にホスピス病棟に入院されたのですが、特になんの治療もないことから御本人の希望もあり自宅に一時帰宅され、御家族と楽しい時を過ごされて3日目の朝、御自宅から病院に帰るタクシーの中で気がついたら静かに息を引き取っておられたとのことでした。ホスピスにおられる間も漢方薬だけは毎日服用しておられたとのこと。このような穏やかなかたちで人生を終わられたAさんを、うらやましく思いました。

土曜日の外来日程変更についてのお知らせ

7月第1週より、土曜日の外来日程を下記のように変更いたします。

奇数土曜日(1・3・5週)

1階診察室：西本院長(内科) 9:00~13:30)

2階診察室：田川直洋医師(内科・新任) (9:00~12:30)

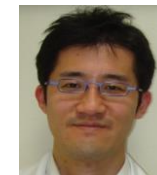
偶数土曜日(2・4週)

1階診察室：西本院長(内科) 9:00~13:30)

2階診察室：武内睦子医師(婦人科) (9:00~12:30)

*田川直洋(たがわなおひろ) 医師

2007年 島根大学医学部(旧島根医科大学)卒。その後、神戸市立医療センター西市民病院、市立堺病院、兵庫県立尼崎病院 ER 総合診療科兼漢方内科などを経て、2015年より高雄病院 漢方内科 専門：内科・漢方全般



クリニックレターのバックナンバーをお読みにりたい方は、クリニックのホームページをご覧ください。